

「夢」をもち、「夢」に向かって努力する生徒

原北中学校 学校通信



令和 3年 2月 8日 第19号
福岡市早良区小田部7-11-1
電話 092-851-3344
発行者 校長 福崎 浩 信



進級や卒業・進学に向けて

2月2日は節分、そして3日は立春でした。立春と聞くと、すぐにも暖かくなっていくような気がしますが、まだまだ寒い日が続きます。けれども、日の出の時刻は早く、日の入りは遅くなっていき、太陽の出ている時間（日脚）が毎日2分くらいずつ長くなってきます。また、太陽の地平線からの角度も少しずつ高くなり、日差しが強くなってきて、日中の明るさが増してきます。春は、光からやってくると言うわけです。こうしたことからロシアでは、2月のことを”光の春”と言うそうです。長い寒い冬を耐え、春を心待ちにしている国の人々ならではの表現だと思います。

この頃になると、日当たりの良い空き地や土手にオオイヌノフグリの青い小さな花を見つけたり、フキノトウの爽やかな浅緑の芽に気づいたりするようになります。

一方、樹木は、まだ裸のままでも何の変化もないように見えますが、よく見てみると枝先にはたくさんの木の芽がついています。しっかり張った根から水分や養分を吸い上げ、幹から枝々に送り、花を咲かせたり葉を芽吹かせたりする準備を怠りなく進めています。

子ども達にとってもこの2月は、ちょうどそうした時期と考えます。入学当初、年度当初に比べてできるようになったことを確かめ、得意なことを伸ばし、苦手なことを克服できるように頑張って欲しいと願っています。

季節は、温かい日と寒い日を繰り返しながら本格的な春へと進んでいきます。子ども達もそれぞれの春に向かって、一日一日を大切に積み上げていくものと信じています。

道は開ける(成せばなる)「木のいのち 木のこころ 因(教えるということ)・西岡常一」

「押しつけられて、嫌々覚えるんでは何にも身につかないのですよ。それと、こうやればいいんやろというのは頭では分かりますやろが、実際に自分で何にも分かりませんのや。人ができるのと自分がやるのとでは違いますからな。それと、やってみな、自分がどこがわからんのか、できんのか全くわかりませんのや。」

「刃物を研ぐというのはどういうことかといいましたらな、人から教われませんのや。私が弟子の小川にいったのは、自分で削った鉋屑を見せまして、こんなふうにするんだ、そういっただけですわ。私のおじいさんもそうでした。目の前でやって見せてくれるから、できますのや。口で『向こうが見えるほどの屑を出してみい。』と言われただけでしたら『そんなもん、できるか。』と思いますが、目の前で簡単にやって見せてくれるんですからな。やらななりませんやろ。それでは刃を研ぐんですわ。刃を研ぐといったら簡単なようですが、これが難しいんですな。これができんことには何にも始まりません。ゆっくり自分のものにせな、あきませんのや。自分の仕事ですし、それで一生飯を食っていくんですからな。姿勢が悪くても刃は研げません。力の入れ具合が悪くてもできません。癖があったら研げません。自分の癖は分からないものです。その癖が刃物を研ぐときに出るんですな。急いでも、力を入れても研げませんのや。そのたびに『何でや』と思いますやろ。それで考えるんですな。そして先輩のすることをよく見ますな。何とかして研ごうと思えますからな。素直に、自分の癖をとって、自分で考え、工夫して初めて身につくんです。苦労して、考え考えしてやっているうちに、ふっと抜けるんですな。そしてこうやるのかと気がつくんです。こうして覚えたことは決して忘れません。」

「教える方も、考えや創造力が膨らむようなことをいいますのや。そのときはわかりませんわな。しかし、何かのときに、ふっとこういう意味やったんやな、ということがわかるんですな。刃物を研ぐときだけでなく、すべてにおいてそうでしたな。」

福岡市英語チャレンジテスト結果

第2次福岡市教育振興基本計画では、「グローバル社会を生きるキャリア教育の推進」を掲げられ、令和6年度までに福岡市のめざす英語力を、「中学3年生で英検3級程度以上が75%以上」と定め、11月25日（水）、英語チャレンジテストが実施されました。令和元年度から、3年生のみの実施で、結果は次のようになりました。

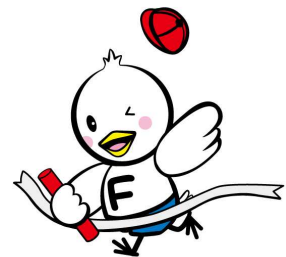
<英検相当レベル別割合>

3年生		3級以上相当レベル	4級相当レベル	5級相当レベル	5級受検相当レベル
	原北中	78.4%	15.4%	6.2%	0.0%
	福岡市	66.2%	21.5%	12.0%	0.3%
昨年度		3級以上相当レベル	4級相当レベル	5級相当レベル	5級受検相当レベル
	原北中	67.4%	25.0%	7.6%	0.0%
	福岡市	53.7%	33.2%	12.8%	0.4%



<分野別正答率>

3年生		語彙	読解	リスニング
	原北中	88.4%	78.4%	83.0%
	福岡市	83.3%	72.2%	78.2%
昨年度		語彙	読解	リスニング
	原北中	87.1%	82.2%	81.8%
	福岡市	80.6%	75.3%	77.1%



<結果の考察>

「中学3年生で英検3級程度以上が75%以上」に対するの評価

- 英検3級以上相当レベル75%以上を達成し、福岡市の平均を大きく上回りました。
- 生徒の関心や課題に応じた目標を設定させ、音読の強化を図っていきます。
- 英語のみを使う授業を心がけ、聞く力を伸ばす課題を取り入れていきます。
- スピーチやプレゼンテーションを多く取り入れ、発信力の育成に取り組んでいきます。
- 今後は、授業やテストなど、設問の工夫や多様な読書活動を更に充実させていきます。
- 語彙や文法の定着を図りつつ、4技能を統合した授業改善に取り組みます。

生活習慣調査の結果を踏まえた教育活動

1・2年生は、10月5日（月）に行われた福岡市生活習慣・学習定着度調査における生活習慣調査の結果を踏まえた教育活動について、以下の項目について11月以降の重点課題として取り組んできました。

- ① 学級みんなで協力して何かをやり遂げたが、うれしかったことが少ない
→集団作りの中に達成感を感じさせることができるように意識した指導を行う
- ② 掃除を一生懸命にしていると答えた生徒が少ない
→基本的な掃除の仕方に加え、目の付けどころ等具体的な場面を示して指導を行う
- ③ 授業の最後に学習を振り返る活動が行われていないと答えた生徒が多い
→板書計画、時間配分など授業力を高める環境(互いの授業を見る等)を構築していく
- ④ 学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができるかと答えた生徒が少ない
→自分の考えをまとめ、他の考えの良さに学びながら付加修正する活動や、学びの必然性・有用性を実感させる指導を行う
→生徒が自ら課題を見だし、主体的に学び、よりよく解決するための学習指導の過程を更に工夫していく

